

科目名	安全衛生化学			学年	類型・コース	単位数
				3年	総合選択 F2・工業(バイオとかがく)	2単位
学習の目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。					
教科書	主たる教材：自主教材					
副教材	副教材：登録販売者試験「合格テキスト&問題集」(ナツメ社)					
評価	評価法	定期考査や小テスト、提出物の内容、授業に対する取り組みや意欲を総合的に評価する。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技術	登録販売者についての知識を理解しているかを定期考査や小テストなどで確認します。		
		b	思考・判断・表現	医薬品の取扱について多角的に考え、説明できるかを授業での発表や反応、レポート、定期考査などで確認します。		
		c	主体的に学習に取り組む態度	授業での発表や反応、理解を深めるノートやレポート、追加課題の考査への出題などで主体的に取り組んだかを確認します。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評点(1～10の10段階)にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評点(1～5の5段階)にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	薬機法	登録販売者試験、薬機法の目的、医薬品の分類、取扱い	小テスト 期末考査	発表 期末考査	発表
	5月	8	医薬品販売	医薬品の販売業の許可、医薬品販売に関する法令			ノート
	6月	8	薬害の歴史	医薬品概論、医薬品の効き目や安全性、適切な医薬品選択、薬害の歴史			課題
	7月	4	人体の仕組みと薬の働き	人体の構造と働き、薬が働くしくみ、副作用			振り返り
夏休み							
2学期	9月	8	神経・呼吸器・消化器	主な医薬品とその作用(精神神経、呼吸器官、胃腸薬)	小テスト 期末考査	発表 期末考査	発表
	10月	8	循環器・泌尿器	主な医薬品とその作用(心臓、血液、排泄に関わる部位)			ノート
	11月	8	婦人薬・アレルギー	主な医薬品とその作用(婦人薬、アレルギー薬、鼻・眼科用薬)			課題
	12月	4	皮膚薬	主な医薬品とその作用(皮膚・歯・口、禁煙補助剤、滋養強壮薬)			振り返り
冬休み							
3学期	1月	6	医薬品の適性使用	医薬品の適正使用情報、安全対策・副作用救済制度、安全対策	小テスト 期末考査	発表 期末考査	発表
	2月						ノート
	3月						振り返り

担当者からのメッセージ(学習方法など)
医薬品の取扱や販売には薬剤師や登録販売者の資格が必要になります。登録販売者は薬店やドラッグストア等で活躍しています。登録販売者試験についての知識を学ぶ授業です。シラバスは理想的に進んだときの内容であり、最後まで進まないことや、今日的な内容も加えたりしながら授業を進めるため、教科書だけに頼らずノート・メモをしっかりとることを心掛けること。

